

## 国際課税委員会（第27回）の概要

平成21年2月26日、第27回の国際課税委員会が開催されました。今回は、大野さんから、「OECDにおける移転価格課税の議論ー比較可能性と利益法を中心にー」と題する報告をいただき、議論をしました。

報告の概要は次の通りです。（別添詳細報告書）

移転価格税制に関して、OECDにおけるこれまでの検討状況は次の通りである。

(1) 比較可能性（comparability）

2006年5月にディスカッションドラフトを公表し民間意見を募集、  
2008年11月17日にパブリックコンサルテーションを実施。

(2) 取引単位利益法（transactional profit methods）

2008年1月にディスカッションドラフトを公表し民間意見を募集、  
2008年11月17日にパブリックコンサルテーションを実施。

（注）どちらのディスカッションドラフトも、国税庁のホームページに仮訳が掲載されている。

以下の議事録本文は会員用メールマガジンで配信します。